

静岡県議会レポート

県庁内 控室 静岡市葵区追手町9-6 TEL054-221-3510
浜松市中央区入野町9860-1 TEL053-440-7100

浜松市中央区 田口 章



将来を見据えた地域経営を

2年目を迎えた鈴木康友県政は施策等に徐々に特徴が表れてきました。6/18～7/7に行われた県議会6月定例会では、厳しい中であっても将来を見据えた地域経営を進める議論がスタートしました。一方、「新県立中央図書館」については厳しい意見が相次ぎました。詳しくは裏面でお伝えします。

①2040基本指針(仮称)

厚生労働省の人口動態統計によると、2024年の静岡県の合計特殊出生率は1.19と過去最低を更新、全国では1.15、最低の東京都は0.96となりました。

また出生数は、全国で初の70万人割れとなりました。これまでの予測では70万人割れは2039年とされていたので、15年早いペースで人口減が進んでいることになります。

人口減少には「抑制対策」と「適応対策」が必要です。知事は「減ることを前提に適応対策を推進」とし、高齢化がピークを迎える2040年頃を見据えた「2040基本指針(仮称)」の策定を表明しました。

内容は今後の議論となりますが、7年前に出された「自治体戦略2040構想研究会」など総務省のレポートが参考になります。今後、DXや官民・自治体間連携、資産経営など積極的に提言します。

②行政経営戦略会議

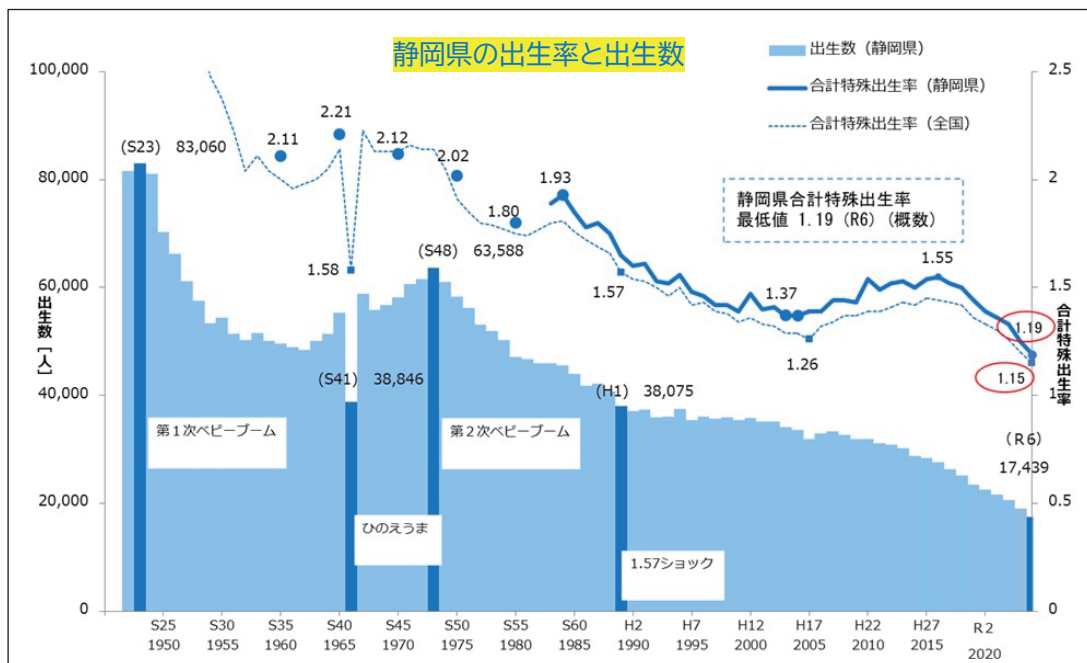
康友知事は今年度を「財政改革元年」、今後4年間を「改革強化期間」と定め、集中的に行財政改革を進めると表明。それを進めるため「行政経営戦略会議」を設置し、6月に初会合が行われました。

第1回会議では「財政運営のあり方」について議論され、民間経営者の方からは、県財政に対し「民間企業だったらお金貸してくれるところはない」など厳しい声が上がりました。

私は2011年に県議になって以来ずっと行財政改革に取り組んできましたが、この間も財政状況は悪化の一途をたどってきました。14年間何をやってきたのか・・・との忸怩たる思いがありますが、私の信条は「今より早いときはない」です。



行政経営戦略会議
(静岡県)



総務委員会では早速、財政リテラシー向上に向けた新公会計指標の活用、事業見直しにおける事業評価の進め方、金利上昇を見据えた繰上償還、働き方改革と総労働時間短縮に向けたフレックスタイム制の導入、行政経営研究会の活用などを提案しました。

行政経営戦略会議は年内に提言を出す予定です。私も有識者のみなさまに負けないよう、積極的に行財政改革を提案していきます。

③トランプ関税への対応

6月に県の第2回米国関税対策連絡会議が行われました。県内経済団体等から意見聴取を行い、今後の方向性が検討されました。事業者の皆様からは、足元では事業への直接的な影響は出ていないものの、今後の経済動向への危機感が示されました。

これを受け6月補正予算では、中小企業向け融資制度を拡充するほか、輸出先の販路開拓、コスト削減、新規事業への進出など努力する事業者を後押しする施策を進めることとしました。詳細はQRコードからご覧ください。

この紙面を作成している段階では米国の厳しい姿勢が示されています。タイムリーな事業者支援が進められるよう取り組んでいきます。



米国関税措置を受けた対策パッケージ
(静岡県)

新県立中央図書館の整備について

東静岡駅南口に整備が計画されていたこの事業について非常に大きな議論になりました。

昨年度、総事業費が192億円から298億円に増えることが示されましたが、このほど新たに136億円を見込んでいた国の交付金が34億円しか交付されないことが明らかになりました。

本会議で知事は「いったん立ち止まって整備方針を見直し、年内をめどに方向性を示す」としました。

文教警察委員会では厳しい意見が出され、閉会中も継続して審査することになりました。また予算をつかさどる総務委員会でもこれまでに至る県の姿勢を厳しく問う声がありました。

確かに、昨年度行われた入札が不調に終わり、事業が止まっていたので、最悪の事態は避けられましたが、もし工事が始まっていたら、基金が54億円しかない中で不足する100億円余をどうするつもりだったのか・・・、そう考えるとゾッとします。

そもそもこの事業の発端は、現在の県立中央図書館が築55年を経過しており、老朽化により収蔵施設にヒビ割れが生じていることから、整備が急がれていたものです。

「図書館は市町も所有していることから、県立図書館は二重行政的であり必要ない」との声もありますが、県立図書館は市町の図書館が収蔵しきれない蔵書のバックアップ機能が求められることから、私は県立図書館の役割そのものは否定しません。

一方でデジタル化が進む中、巨大な収蔵施設を持つことには疑問もありますし、立地を活かした様々な機能を盛り込む計画でしたが、これもかなり難しくなったと考えます。

県からは、今後、こうした大規模事業は担当部局だけで進めるのではなく、企画部が中心となって全庁挙げて進めていく方向が示されました。このようなことが二度と起こらないよう内部統制機能を強化するとともに、年内に示される再整備計画をしっかりとチェックしていきます。



【大幅見直しは必至！？新県立中央図書館の外観イメージ】

FMHaro! 76.1MHz

KENGI DE Night (県議でナイト)

月・木の夜、FM Haroで県政のホットな話題をお届けしています。担当するのは県西部の会派メンバー8人。私は毎月第4月曜日19:30-20:00を担当しています。お聴きくださいね。



創ろう!元氣な浜松&静岡県

田口 章 は持ち前のフットワークで、元気いっぱい活動しています。日常の活動は、ホームページやブログでも報告しています。インターネットがご利用できる方はぜひご覧ください。



田口章 で 検 索

